

ニコチンガムとパッチの特徴

ニコチンパッチ

ニコチンガム

長所

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 使用法が簡単 | 1. 短時間で効果が発現 |
| 2. 安定した血中濃度の維持が可能 | 2. ニコチン摂取量の自己調節が可能 |
| 3. 歯の状態に関係なく使用できる | 3. 口寂しさを補うことが可能 |
| | 4. 処方箋なしで購入可能 |

短所

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 突然の喫煙欲求に対処できない | 1. かみ方の指導が必要 |
| 2. 皮膚の発赤、かぶれや睡眠障害 | 2. のどの痛み、胸やけや胃の不快感 |
| 3. 医師の処方箋が必要 | 3. 歯の状態や職業によっては使用しにくい場合がある |

© 厚生労働科学・中村基 2002

ニコチンガムとパッチの特徴

- ニコチンパッチの長所は、朝1回の貼り替えで安定した血中濃度が得られ、使いやすいことである。
- 一方、ニコチンガムの長所は、ニコチンパッチに比べて血中濃度の上昇が早く、突然の喫煙欲求に対処可能な点である。
- ニコチンパッチの副作用にはニコチンの化学的刺激による皮膚症状があるが、毎日貼る場所を変えることにより、多くは対処可能である。
- ニコチンガムは普通のガムのように連続してかむと、のどの痛み、胸やけや胃の不快感などの副作用がでやすいので、かみ方について十分説明しておくことが大切である。

ニコチンパッチの使用方法

- 上腕部、腹部、腰背部などの部位に、シワができないように伸ばして貼る
- 1日1枚24時間貼り続ける
- 原則として朝起床後に貼り替える
- 標準的な使い方としては、ニコチネルTTS30を1日1枚ずつ4週間使用し、その後、ニコチネルTTS20とTTS10を各2週間ずつ使用する
- 使用期間は原則として8週間とする



© 厚生労働科学・中村基 2002

ニコチンパッチの使用方法

- 使用量は1日1枚で、原則として朝起床後に、上腕部、腹部、腰背部などの部位にシワができないように伸ばして貼る。
- 使用方法を誤って、お風呂あがり(夕方～夜)や眠る前に貼ると、夜間にニコチンの血中濃度が高まり、不眠になりやすいので注意が必要である。
- ニコチンによる皮膚の刺激作用をできるだけ減らすために、毎日貼る場所を変え、繰り返し同じ場所には貼らないようにする。
- 使用期間は原則として8週間で10週間を超えて使用しないとされている。
- 標準的な使用法は以下のとおりである。
 - ニコチネルTTS30 4週間
(ニコチン含有量52.5mg、平均放出量21.2mg)
 - ↓
 - ニコチネルTTS20 2週間
(ニコチン含有量35mg、平均放出量16.1mg)
 - ↓
 - ニコチネルTTS10 2週間
(ニコチン含有量17.5mg、平均放出量8.3mg)